

**製品名: CEP135 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08658**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	134kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CEP135
別名	CEP135; CEP4; KIAA0635; Centrosomal protein of 135 kDa; Cep135; Centrosomal protein 4
遺伝子 ID	9662.0
SwissProt ID	Q66GS9
免疫原	抗血清はヒト CEP135 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1081-1130

**背景**

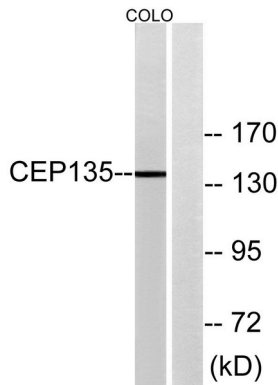
中心体タンパク質 135 (CEP135) ホモ・サピエンス この遺伝子は中心体タンパク質をコードしており、このタンパク質は初期の中心体形成において足場タンパク質として機能し、また間期における中心体間の接着にも必要である。この遺伝子の変異は、常染色

体劣性原発性小頭症 8 と関連している。[RefSeq 提供、2012 年 6 月],類似性: CEP135/TSGA10 ファミリーに属する。 ,

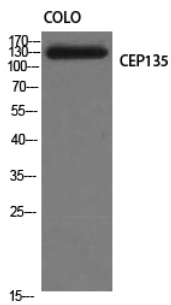
## 研究分野

-

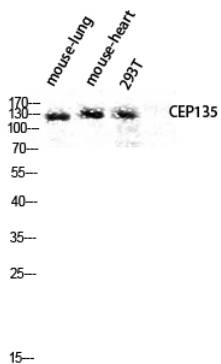
## 画像データ



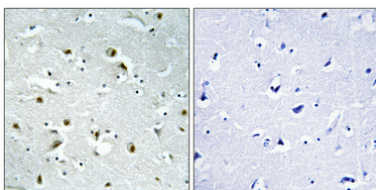
COLO 細胞ライセートの CEP135 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CEP135 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット解析



CEP135 抗体を用いたマウス肺およびマウス心臓 293T 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。